

2015
3

長崎県の“土木”のいまがわかります

NO. 25

長崎県

DOVOC 通信 ながさき

特集
1

長崎県耐震・安心住まいづくり
支援事業

特集
2

「県民参加の地域づくり事業」
長崎県の愛護団体の受賞者を
紹介します!



長崎県の土木遺産

DOVOC インフォメーション



表紙写真／「しまばら芝桜公園(島原市)」を維持管理するNPO法人「芝桜公園をつくる会」のみなさん
～国土交通大臣「手づくり郷土賞」受賞～

県・市町の助成事業



長崎県耐震・安心住まいづくり支援事業

あなたの大切な家族と財産を守るため、住宅の耐震診断を受けましょう!

まずは、耐震診断で耐震性の確認

対象は

昭和56年(1981年)5月31日以前に建てられた戸建木造住宅(主として持ち家)が対象です。

助成金額は

耐震診断に要する費用46,200円の内30,800円を県と市町が助成します。自己負担額15,400円で耐震診断を受けることができます。

もっとうまく判断されたい

次に耐震改修計画作成で工事内容、工事費の確認

対象は

耐震診断の結果、耐震基準に適合していない住宅を現行基準に適合させるための改修計画作成費がその対象です。

助成金額は

1棟あたり7万円を上限として、設計費の2/3を県と市町が合わせて助成します。



改修計画が終わったら

さっそく耐震改修工事で安全な住まいへリフォーム

●税額控除や減税措置が受けられます。

●お住まいの地域によっては、工事にかかる費用の一部を県と市町が合わせて助成します



申込先はお住まいの市町の窓口(下記の一覧表をご覧ください)へお問い合わせの上、お申し込みください。

市町名	窓口	電話番号	耐震化助成実施状況		
			診断	改修計画	改修工事
長崎市	建築指導課指導係	095-829-1174	○	○	○
佐世保市	建築指導課指導係	0956-24-1111	○	○	○
島原市	都市整備課建築班	0957-63-1111	○	○	○
諫早市	建築住宅課	0957-22-1500	○	○	○
大村市	建築住宅課	0957-53-4111	○	○	○
平戸市	まちづくり課建築営繕班	0950-22-4111	○	○	○
松浦市	都市計画課建築係	0956-72-1111	○	○	○
対馬市	管理課	0920-53-6111	○	○	○
壱岐市	建設課建築班	0920-42-1111	○	○	○
五島市	建設課建築住宅班	0959-72-6111	○	○	○
西海市	住宅建築課建築整備班	0959-37-0021	○	○	○
雲仙市	建築課	0957-38-3111	○	○	○
南島原市	都市計画課都市計画班	050-3381-5067	○	○	○
長与町	管理課住宅係	095-883-1111	○	○	○
時津町	都市整備課施設管理係	095-882-2211	○	○	○
東彼杵町	建設課管理係	0957-46-1111	○	○	○
川棚町	建設課総務管理係	0956-82-5415	○	○	○
波佐見町	建設課管理係	0956-85-2111	○	○	○
小値賀町	建設課管理班	0959-56-3111	○	○	○
佐々町	建設課	0956-62-2101	○	○	○
新上五島町	建築課都市計画建築班	0959-53-1111	○	○	○

○印：助成制度要綱あり(平成27年度からの実施予定を含む。)



民間建築物への耐震化も助成します。

幼稚園、百貨店、ホテル、病院、老人ホーム、賃貸共同住宅などで、一定規模以上の民間建築物の耐震診断について助成します。また緊急輸送道路を閉塞する恐れのある建築物の耐震診断・耐震改修計画作成についても助成します。



長崎県の建物の地震対策



●日本国内において、大地震はいつどこで発生してもおかしくない状況です。

国は、既存建築物の耐震化を促進するために、平成7年に耐震改修促進法を制定しました。その契機となったのが、皆さんご存知とは思いますが、阪神・淡路大震災です。

この地震により、6,434人もの尊い命が犠牲となりました。また、約25万棟の家屋が全壊・半壊し、その建物の下敷きになり、圧迫死や窒息死したと思われるものは、犠牲になった方の約80%と報告され、建築物の被害の傾向をみると、昭和56年6月以前に建築されたものに集中しておりました。

その後も大規模な地震が各地で起こっており、記憶に新しいのは平成23年3月に起こった東日本大震災です。

- 耐震改修促進法の制定の契機となった地震
H 7.1 兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災) ※マグニチュード 7.3 最大震度7
- 近年の主な地震
H17.3 福岡県西方沖地震 ※マグニチュード 7.0 最大震度6弱
H19.3 能登半島地震 ※マグニチュード 6.9 最大震度6強
H19.7 新潟県中越沖地震 ※マグニチュード 6.8 最大震度6強
H23.3 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災) ※マグニチュード 9.0 最大震度7

●耐震診断★、計画★や工事に助成しています。★民間建築物にも助成
長崎県では、昭和56年以前に建てられた戸建の木造住宅や一定規模以上の建築物の耐震化を推進するため、県内市町と協力して助成事業(「長崎県耐震・安心住まいづくり支援事業」)を実施しておりますのでご紹介します。

《住宅のお問い合わせ先》

長崎県土木部住宅課 TEL095-894-3104 住まいの玉手箱 検索

《住宅以外のお問い合わせ先》

長崎県土木部建築課 TEL095-894-3093 長崎県建築課 検索

特集
1

長崎県耐震・安心住まいづくり支援事業

「誰でもできるわが家の耐震診断」
(住宅の所有者が行う簡易診断)



提供：(一財)日本建築防災協会

各地の受賞者をご紹介します!

愛護団体・アダプト団体の中から、活動が特に顕著な団体に対して各地区で表彰を行っています。

雲仙市

〈団体名〉
千々石川を守る会

〈代表者〉
中村 三郎さん

〈主な活動場所〉
雲仙市千々石地区



「千々石川全域や千々石海岸の清掃、国道57号沿いに花壇を設置し、手入れをしています。自治会や老人会、小中学生など、地域ぐるみで参加してくれています。参加者には高齢者も多く、国道沿いで花壇の手入れ作業では交通事故に気を付けています。今後も活動を継続していくため、ボランティアですが、少しでも参加してくれる人が増えることを望んでいます」。

島原市

〈団体名〉
NPO法人 芝桜公園をつくる会事務局

〈代表者〉
松本 良一さん

〈主な活動場所〉
島原市上折橋地区



「雲仙普賢岳災害で、全国から多くの支援を受けました。そこで復興をアピールし、災害後に激減した観光客を呼び戻したいとの思いでスタートしました。面積が広く、作業が追い付かないこともありますが、毎回100人前後の会員登録したボランティアが作業してくれています。春の芝桜、秋の秋桜と年間を通して楽しめる公園を目指しています」。

壱岐市

〈団体名〉
NPO法人 一支國研究会

〈代表者〉
鶴瀬 守さん

〈主な活動場所〉
壱岐市芦辺町地区



「名所、遺跡が多数存在する壱岐島内。中でも原の辻遺跡内を流れる幡針川流域、原の辻ガイダンス周辺の除草清掃を年3～4回実施。当初は研究会の会員のみでしたが、現在はボランティア団体『原の辻サポーター』の皆さんが参加してくれることも。夏場の熱中症など健康管理に気を付けて、真面目にコツコツと継続していきたいと思っています」。

新上五島町

〈団体名〉
県立上五島高校

〈代表者〉
生徒会指導部主任
小森 修一さん

〈主な活動場所〉
新上五島町浦桑郷地区



「毎週木曜に学校周辺、年に2～3回、蛤浜の海岸清掃を行っています。海岸はゴミの量が多いため、ゴミ回収後の分別に苦労することも。1年生の時は分別に戸惑っている生徒もいましたが、2年生、3年生になると、清掃活動を楽しむ表情が見られるようになりました。約20年にわたる地域貢献運動なので、今後も受け継いで行きたいと思っています」。

対馬市

〈団体名〉
佐須奈地区 あい花の会

〈代表者〉
渡辺 貞子さん

〈主な活動場所〉
対馬市上県町佐須奈地区



「平成20年から花を入れたプランターを国道382号沿いに設置。佐須奈地区は人口や店舗が減少してきたので、花を置くことで町が明るくなればと思ったことが結成のきっかけ。花を植えた後の水やりが大切。夏場は毎日水をやっています。この活動を続けていくため、1人でも多くの人に参加してもらいたいと思っています」。

対馬市

〈団体名〉
佐護区青年部 佐護愛護会

〈代表者〉
春日亀 清さん

〈主な活動場所〉
対馬市上県町佐護地区



「佐護区の中に青年部を設立。地区の若者の一体化を目指して活動を開始しました。現在は6月に行われる地域の祭りへの協力や、8月に行われる佐護川、湊浜の清掃、2～3月に行う野焼きの協力などを行っています。清掃活動の参加人数の確保は大変ですが、年々参加者が増えつつあります。今後も現在の活動を継続していきたいです」。

愛護団体、アダプト団体の登録、支援制度について

県が管理する河川・海岸・道路・港湾・漁港・都市公園・砂防公園などの清掃・美化活動に取り組む団体を「愛護団体」「アダプト団体」として登録し、その活動に対して支援をおこなっています。

ゴミ袋、軍手、飲料品、草刈機の燃料などが支給されます!

登録団体の要件

県が管理する施設等の清掃・美化活動に取り組む意思がある団体

(例) NPO、自治会、老人会、婦人会、小中高等学校、企業、ボランティア団体 等

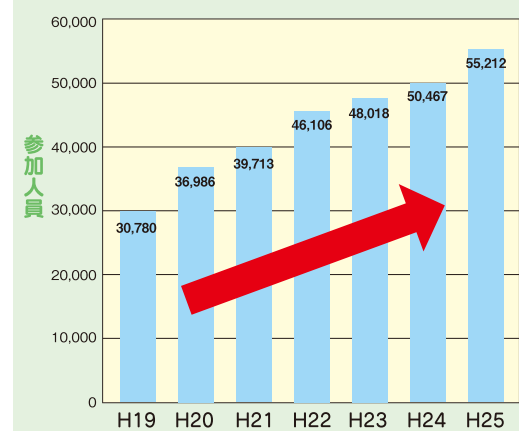
愛護団体とは?

- ① 構成人員が概ね**5名以上**の団体
- ② 活動箇所は**1ヶ所**に限定しない
※活動箇所が複数(河川、道路等)に及ぶ団体、市町管理区域も含めて活動箇所とする団体も該当します。
- ③ 年間の活動回数は、**自由**(最低1回以上活動)
- ④ 活動範囲は**団体**で設定

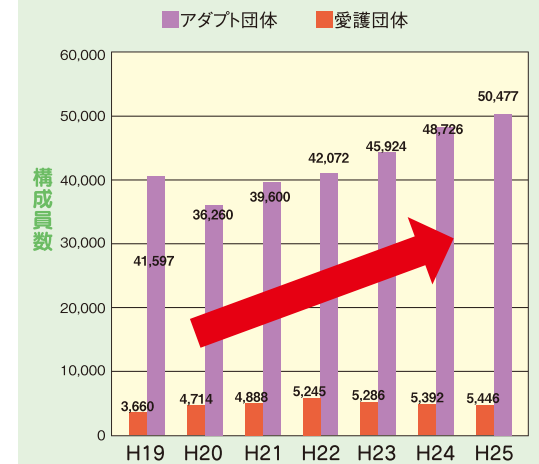
アダプト団体とは?

- ① 構成人員が概ね**10名以上**の団体
- ② 活動箇所は**1ヶ所**に限定
- ③ 年間**4回以上**の活動が実施できて、**2年間以上**活動が見込める団体
※申込書に記載した年間活動計画に基づいて、年間4回以上の清掃・美化活動を行います。(日時等は原則として各団体が自ら決定します)

活動実績



アダプト団体・愛護団体



地域で活動されている方が増えています。

各地区的振興局建設部管理担当課または土木維持管理事務所

県民参加の地域づくり 🔍 検索

ずーむあっぷ ながさき人

今回も、「未来のながさきの街づくり」を担う現場でガンバル若手のみなさんをご紹介します。



株式会社 堀内組
土木事業部 本山 直文 さん

地域住民が安心して生活できる
構造物建設に携わっていきたい

建設業の叔父から影響を受け建設業界へ。「建設の基本は測量」との叔父からアドバイスで、グループ会社測量部門で3年間の勤務を経て、現在は土木事業部で現場代理人として勤務しています。

西九州自動車道伊万里松浦道路整備事業の道路改良工事を担当。「現場近隣に住宅もあるので、安全第一で作業を進めています」と本山さん。無事故で竣工させることが一番の課題だと語ります。

「土木工事は河川やダムなど様々な建設を体験できます。完成した時の安堵感と達成感は格別。先輩のアドバイスを吸収し、自分自身で決断できる技術者を目指しています。地域の人々が安全で安心して生活できる、なくてはならない構造物の建設に携わっていきたいです」。



休日は子どもたちと一緒に愛犬のラブラドルレトリバーの散歩へ



大石建設 株式会社
建築部 久松 靖子 さん

建設の現場は奥が深い仕事
日々勉強することが大切

大学時代に建築、建設関係の仕事に就きたいと希望。

ただし仕事内容は何も分からないままのスタートでした。イメージしていた建設現場の仕事は「男社会=怖い」。実際に仕事を初めてみるとただの思い込みだったことが分かったそうです。仕事で難しいと思うところは「年上の人に作業をしてもらうことが多いこと。言葉などにも気を付け、情報共有のため、1対1ではなく、チームのメンバーで集合して話し合いながら作業を進めています」。

現在は長崎市の梁川交差点付近の建物リニューアル工事を担当。

仕事のやりがいを感じる時は「担当した現場が完成した時」。「現場ごとに臨機応変に対応できるよう、日々勉強しています」。



週末は友達とのドライブやショッピングなどを楽しんでいます

第6回

佐世保鎮守府修理艦船繫留場 (立神係船池) —明治期日本海軍最大の土木工事—

長崎大学名誉教授 岡林 隆敏



立神係船池(修理艦船繫留所)

佐世保重工業(株)の海側に、四角に囲まれた巨大な岸壁が見える。修理する船を係留する「立神係船池」(当時の名称「佐世保鎮守府修理艦船繫留場」)で、今から100年ほど前の大正5年(1916)12月に完成した。

日本の西端にある佐世保海軍基地は、日露戦争以来、前線基地、補給基地、修理基地としての重要な役割があり、大規模な修理用ドックと係船池が要求された。

そこで、日露戦争当時、佐世保鎮守府建築科長

であった吉村長策は、立神係船池の計画を立案し、明治38年(1908)に工事訓令が発令された。

工事は明治39年(1906)4月に着工、真嶋健三郎が主任技師を務めた。海軍工廠前面の海面を堤防で囲み矢板作業、海水を排除した海底を掘削して平滑にし、明治44年4月から岸壁工事にとりかかった。鉄筋コンクリートで岸壁を乾作業で施工し、巨大なコンクリートの壁で囲まれた空間が構築された。大正4年3月に海水を再び導入し、大正5年(1916)12月に係船池は完成した。工事に着手後11年を要し、総工事は約3,000,000円となった。明治44年(1911)吉村長策転出後、主任技師は山内彌次郎に替わったが、設計・工事には建築科長となった真島健三郎の努力が注がれた。

立神係船池(修理艦船係留場)の概要は、長さ(東西)1900尺(575.7m)、幅(南北)1200尺(363.6m)、入口の水路幅360尺(169.68m)、岸壁の海底からの高さ52尺(15.75m)、水深(最大干潮面下)35尺(10.60m)となっている。全周は1,878m、面積約210,000㎡の巨大な係船池である。岸壁全周を取り巻く壁体の内部には幅4尺(1.2m)、高さ5尺(1.5m)の暗渠が巡らされ、電線、水道管、空気管などが収納できるようになっている。

明治期の土木技術史をまとめた『明治工業史・土木編』(編集長・田邊朔郎、昭和4年)には、「明治年間における我が海軍の最大の土木事業」として紹介されている。構造物の規模から、また工費の点からも、巨大な土木工事であった。この工事には、佐世保鎮守府で開発された、日本における最先端のコンクリート技術が投入されている。

入水式の「係船池」が右の写真である。岸壁上の人物と比べると、「係船池」岸壁の巨大さが実感できる。この巨大な海洋構造物を乾工事で行っている点に、陸上構造物と同様の、微動だにしない完璧な構造物の建設を目指した、真嶋健三郎をはじめ海軍土木技術者達の意気込みを見ることができる。



時事写真(大正4年3月15日)入水式の「係船池」

昨年10月に佐世保市中心部で再開発事業が竣工しました。 (栄・常盤地区市街地再開発事業)

栄・常盤地区は、「日本一元気な商店街」として、その名を知られている佐世保市三ヶ町・四ヶ町商店街の中に入り、全天候型のアーケードと交差する市道とで形作られた4つの街区からなります。

本再開発事業は、恵まれた立地環境を活かして、あらゆる世代の定住・交流の場として、公共、公益施設、医療、福祉施設、商業施設、住宅、駐車場が複合開発され、街の新しいランドマークとなるものと期待されています。



西九州自動車道が開通 ～松浦市や平戸市がより近くなります～

- ◆区 間:伊万里松浦道路 (山代久原IC～今福IC)
- ◆日にち:平成27年3月14日(土)
- ◆料 金:無料

- 松浦市と福岡市間が、西九州道未整備時に比べ約1時間短縮
- 平戸市や松浦市の多くの魅力ある観光資源がより身近に



今年(平成27年)も長崎港に多くのクルーズ客船がやってきます!

近年、東アジアクルーズの需要の高まりに伴い、長崎港には多くのクルーズ客船が入港しています。今年は現時点で130回を超える入港予約が入っており、入港数・乗客乗員数ともに、これまでの記録(平成26年の75回、約20万人)を大幅に上回る見通しです。さらに、日本に入港するクルーズ客船としては過去最大規模となる『クワンタム・オブ・ザ・シーズ』(総トン数:167,800トン、乗客定員:4,180人)が今年7月を皮切りに、今年12月までに12回の予約が入っております。



ダイヤモンド・プリンセス
=2014年9月撮影



提供:ロイヤル・カリビアン・
インターナショナル